



すぎなみ 教育報



No.218

平成27年9月30日
(年4回発行)

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

杉並区のいじめ防止に向けた取組

いじめは、いじめを受けた児童・生徒の心に大きな傷を負わせ、時にはその子どもの成長や人格にまで重大な影響を与えるものであり、決して許されない行為です。教育委員会と学校は、家庭・地域・関係機関と連携を図りつつ、いじめの根絶に向けて取り組んでおり、その概要をお知らせします。

杉並区いじめ防止対策推進基本方針の策定

依然として全国的にはいじめに端を発した痛ましい事件が後を絶たない現状等を踏まえ、全ての児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめの防止等（未然防止、早期発見・早期対応及び重大事態への対応）のための対策をより一層総合的かつ効果的に推進することを目的として、本年8月に「杉並区いじめ防止対策推進基本方針」を策定しました。

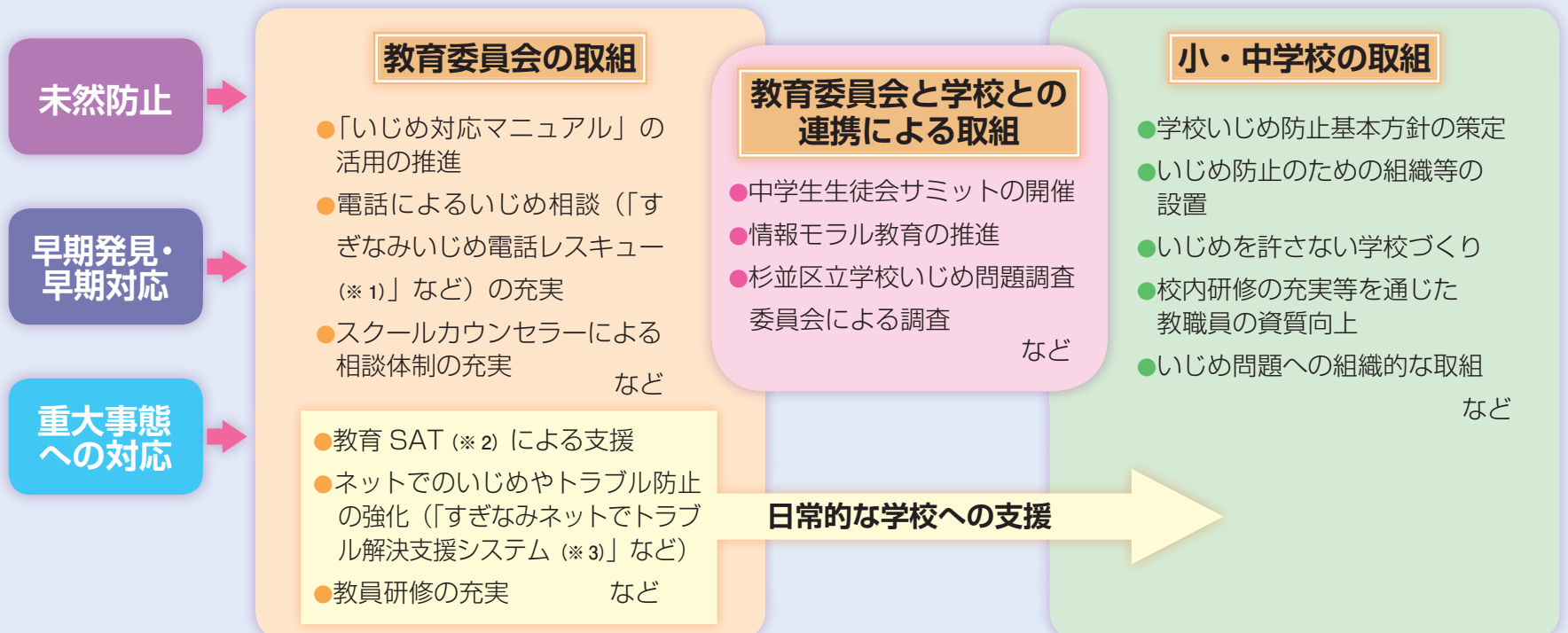
○いじめ防止対策の基本的な考え方

いじめを許さない
学校をつくる

児童・生徒の
主体的な行動を促す

家庭・地域・関係機関と
連携した取組を進める

○基本方針の全体図



（※1）すぎなみいじめ電話レスキュー
子どもに親身に寄り添い、不安な気持ちを受け止め、安心していじめの悩み等を電話で相談できるシステムのこと。
0120-949-466（通話料無料）、080-8825-0119（通話料有料）
電話相談の受付：月曜日～金曜日の午前10時～午後7時 ※祝日、12月29日～1月3日はお休み

（※2）教育 SAT
「いじめ」等の学校現場の生活指導上の緊急課題や、事故や事件等の安全確保上の緊急対応、中・長期的な課題対応を支援するための専門チームのこと。指導主事、元校長、スクールソーシャルワーカー等で構成。

（※3）すぎなみネットでトラブル解決支援システム
インターネット上のいじめ等から児童・生徒を守るため、専用サイトから24時間365日受付ができ、手軽に相談できる「ネット上の相談窓口」等の機能を備えたシステムのこと。



ios 版



Android 版

杉並中学生生徒会サミットの開催

～いじめをなくすために、自分たちでできること～

8月1日（土）、セシオン杉並ホールにて、区立中学校の生徒自身が「いじめ問題」について議論する、「杉並中学生生徒会サミット」が開催されました。

本年度で3回目となるサミットでは、スポーツプロデューサーの三屋裕子氏（元全日本バレーボール選手）をコーディネーターとして、全区立中学校の生徒会役員が「いじめをなくすために、自分たちでできること」をテーマに活発な意見交換が行われ、目の前でいじめが起こった場合にすべきこと（直接話す、行動に移すなど）を確認しました。

なお、当日は、ポスターディスカッションによる各中学校のいじめ防止に向けた取組の発表もあり、区民・保護者等の来場者の方々と共にいじめ問題を考える有意義な機会となりました。



問合せ：済美教育センター ☎ 03-3311-0021

小学校における「特別支援教室」の設置を進めます

～一人ひとりの子どもの支援の充実のために～



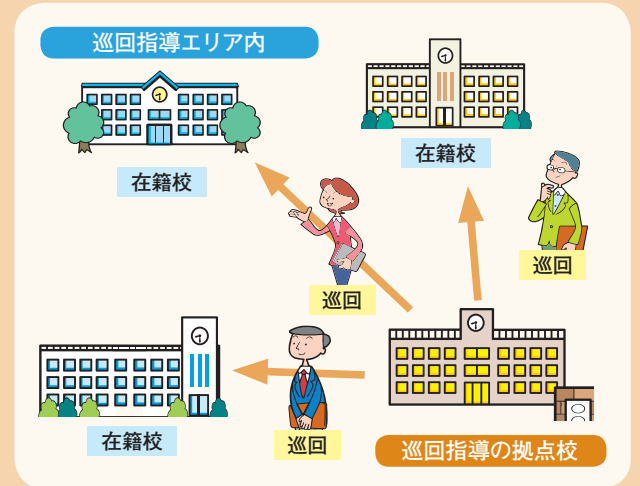
特別支援教室とは、従来の情緒障害通級指導学級における指導に代えて、在籍校で特別な支援が受けられるようにするものです。教育委員会では、本年5月に改定した特別支援教育推進計画に基づき、平成28年度から全区立小学校を対象に特別支援教室の段階的な設置を進め、発達障害児に対する支援の更なる充実を図っていきます。

特別支援教室の概要

- 各小学校に特別支援教室を設置し、巡回指導の拠点校から各校（巡回校）の特別支援教室へ、教員が巡回して指導します。
- 複数校による巡回指導エリアを設定し、エリア内の1校を拠点校に位置付けます。
- 対象となる児童は、従来の情緒障害通級指導学級と同様、知的発達に遅れのない発達障害等のある児童とします。

特別支援教室の設置計画

	28 年度	29 年度		30 年度	
巡回指導エリア	富士見丘小エリア	杉並第七小エリア	高井戸第四小エリア	大宮小エリア	八成小エリア
拠点校	富士見丘小	杉並第七小	高井戸第四小	大宮小	八成小
巡回校	高井戸、高井戸第二、高井戸第三、高井戸東、久我山	杉並第一、杉並第二、杉並第三、杉並第四、杉並第六、杉並第八、杉並第十、西田、東田、馬橋、桃井第二、天沼	桃井第三、荻窪、井荻、松庵	浜田山、堀之内、和田、方南、済美、松ノ木、永福、新泉和泉	杉並第九、桃井第一、桃井第四、桃井第五、四宮、沓掛、三谷



特別支援教育推進計画（平成 27 ～ 29 年度）は、特別支援教育課で配布しています。また、杉並区教育委員会ホームページに掲載しています。

問合せ：特別支援教育課 計画係 ☎ 03-3311-1921

新たに さざんかステップアップ教室「宮前教室」を開室しました

このたび、不登校に悩む区内在住の中学生を支援する「さざんかステップアップ教室『宮前教室』」を新規に開室しました。宮前教室では、学習を主体とした機能に加え、交流・居場所機能を備えた拠点を運営し学校への復帰等を支援しています。

教育委員会ではこのほかに、小学生対象1教室、中学生対象2教室の「さざんかステップアップ教室」を運営しています。

さざんかステップアップ教室一覧

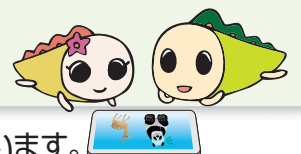
- 【小学生対象】・荻窪教室 杉並区荻窪3-4-23（中央図書館内）
- 【中学生対象】・天沼教室 杉並区本天沼3-10-20（天沼中学校内）
- ・和田教室 杉並区和田1-41-10
- ・宮前教室 杉並区宮前5-5-27（旧高井戸駅前事務所宮前分室跡地）

問合せ：特別支援教育課 相談係 ☎ 03-3311-1921



ICT を活用した教育の推進②

～子どもの学びの可能性を拓げる～



教育委員会では、ICT 環境の充実を図るとともに、一人ひとりの学びの進め方に合った支援について研究を進めています。連載第2回目は、「電子黒板の活用」について紹介します。区立学校のすべての普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターが整備され、授業に活用されています。

杉並第二小学校



6年生社会科「武士の世の中へ」の学習では、電子黒板に資料を拡大して提示したり、児童の気付いたことを書き込んだりしながら学習を進めました。教師がテンポよく資料提示を行い説明の時間を短縮することで、児童が思考したり発表したりする時間をより多く確保することができます。

桃井第三小学校



区立小中学校の理科室には大型の液晶テレビ型の電子黒板が整備されています。5年生「メダカのたんじょう」の学習では、児童が実際に観察して気が付いたメダカの特徴を、電子黒板のメダカの画像に直接書き込みながら説明するなどして、それぞれの考えを全体で共有し学びを深めました。

杉並和泉学園中学部



英語科の前置詞の使い方の学習では、写真等を用いたデジタル教材を活用しました。学習のまとめでは、書画カメラで資料を拡大提示し、前置詞の用法について確認しました。ICT を用いることで、課題を視覚的にとらえやすくなり、どの生徒も集中して学習に臨む姿が見られました。

このように、電子黒板の活用は、児童生徒の興味・関心を高め、思考や理解を深めるうえで、有効な手段となっています。また、これらの機器をさらに効果的に活用するため、教員研修の充実を図っています。

問合せ：済美教育センター ☎ 03-3311-0021

郷土博物館特別展「夢の配達人」森村桂 ～『天国にいちばん近い島』からはじまるものがたり～

杉並区に在住していた作家「森村桂」の代表作「天国にいちばん近い島」をはじめとする直筆原稿や自身が描いた絵画、愛用品などを展示し、小説に加え、旅やケーキ作りなどで人々に夢を与えた森村桂の人生を紹介します。

【展示期間】10月17日（土）～11月29日（日）【問合せ】郷土博物館 ☎ 03-3317-0841

科学とふれあう夏休み！

教育委員会では、身近な場所で科学にふれあうことができる機会をつくるなど、科学教育を推進しています。今回は、夏休みに行われたさまざまな科学の事業を紹介します。

中学生フューチャーサイエンスクラブ (FSC)

8月3日(月)から7日(金)まで、高円寺中学校と座・高円寺を会場に、「中学生フューチャーサイエンスクラブ (FSC)」が実施されました。区内の中学生95人が5日間にわたって最先端の科学を体験しました。

	未来技術・エネルギーコース	プログラム・宇宙コース
8月3日(月)	ロボット工学	PCを使った天体学習
8月4日(火)	燃料電池	アプリ開発・プログラミング
8月5日(水)	光工学	プラネタリウム(番組作成)
8月6日(木)	中空糸膜を使った環境技術 プラスチックを使った先端技術	プラネタリウム(番組投影)
8月7日(金)	リニアモーター	宇宙体験プログラム



宇宙における「真空」について勉強しました。

オリジナルのプラネタリウム番組を作成。投影も自分たちで行いました。



参加者の感想

- ★プラネタリウム番組作成がとても勉強になった。自分たちで投影するのは難しかった。
- ★中空糸膜を使った化学実験で、青い水が透明になったのには驚いた。

いきものから学ぶロボット展

8月14日(金)から26日(水)まで、セシオン杉並で科学技術館の巡回展示「いきものから学ぶロボット展」が開催されました。来場者はロボットの機能や仕組みのうち「動き」、「外界認識」、「かたち」、「頭脳」の4つに着目した展示物に触れて、遊びながら学んでいました。昆虫型の小型ロボット体験では、ロボットの動きに最初はおそろおそろ触れていた来場者も、ロボットに触れ、その動きを楽しんでいました。



会期中は多くの入場者にぎわいました。

大人気の「コキブリ型ロボット」



参加者の感想

- ★ロボットが生き物のように動くのが面白かった。
- ★複雑なロボットの動きも、単純なプログラミングの積み重ねだということが良く分かった。

ロボット教室 (初級)

8月18日(火)に、セシオン杉並で「ロボット教室(初級)」を開催しました。小学3年生から中学生までの30人が、2人1組で協力してプログラミングを行い、自律型ロボットを動かす教室です。

ロボット大会世界チャンピオンをはじめとする講師の丁寧な指導により、全員がロボットを命令どおりに動かし、ロボットサッカーで大いに盛り上がりました。

参加者の感想

- ★ロボットを使った競技があって、ハラハラドキドキしてとても楽しかった。
- ★大変だったけど、すべての課題で成功できてよかった。



勢ぞろいしたロボットたち



白熱するロボットサッカーの対戦

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621

次世代育成基金活用事業「杉並区中学生海外留学(第3期)」

【留学期間】平成27年8月18日(火)～8月30日(日)



杉並区在住の中学生25名がオーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ウィロビー市に派遣されました。現地校での交流やホームステイ、生徒自身が設定した課題の解決に向けた活動を行いました。国際感覚や英語によるコミュニケーションなどを通して、国際社会において必要な資質について考える貴重な体験となるとともに、杉並区とウィロビー市との友好関係を深めることにつながりました。



現地で活躍する日本人からお話を伺いました。



ホストファミリーと対面しました。



8月24日(月)から28日(金)の5日間は現地校体験が行われました。男子はアスキス・ボーイズ・ハイスクール、女子はウィロビー・ガールズ・ハイスクールで英語学習やオーストラリアの文化について学ぶなど、様々な活動に積極的に取り組みました。



出発式



ウィロビー市長表敬訪問



フェアウェル・パーティーではホストファミリーとの別れを惜しまれました。

11月28日(土)の課題研究成果報告会に向け、全3回の事後学習会にて準備を進めています。

郷土博物館分館企画展「中西悟堂 生誕120年 野鳥の父、悟堂をめぐる人々」

「日本野鳥の会」創設者・中西悟堂は、かつて杉並区に住んでいた日本の鳥獣保護の先駆者です。中西悟堂の強烈な個性に惹かれるように、多くの文化人が彼のまわりに集まりました。今回の展示では、中西悟堂と彼をめぐる人々とのエピソードをとおして、中西悟堂の魅力に迫ります。【展示期間】10月31日(土)～12月13日(日) 【問合せ】郷土博物館分館 ☎03-5347-9801

子どもの安全・安心な居場所づくり 「放課後等居場所事業」モデル実施 が始まりました

7月から、学校の余裕教室などを活用して、子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所をつくる、放課後等居場所事業のモデル実施

で、子どもたちが安全に、そしてより充実した健育成環境の下で、遊びと交流する場を創出するものです。

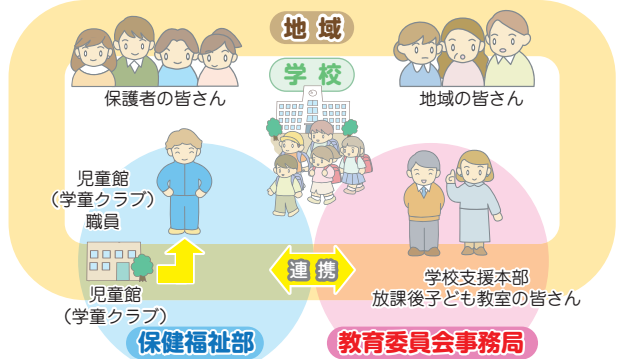


杉並第二小学校での取組の様子 (ミニ運動会)

今年度は、4校をモデル校とし、各校の実状に応じて実施します。杉並第一小学校では、夏休み期間の月～金曜日の20日間、杉並第二小学校・東田小学校・松ノ木小学校では月1回程度、すでに活動している放課後子ども教室や学校支援本部をはじめとする地域の皆さんと、児童館の職員等が連携して取り組んでいます。

問合せ：学校支援課 子どもの居場所づくり担当

放課後等居場所事業の全体イメージ



子どもたちの安全・安心な放課後の居場所づくりを家庭や地域と一緒に進めていきます。

がスタートしました。この事業は、区立施設再編整備計画や国の放課後子ども総合プランを踏まえたうえで、児童館（学童クラブ）や放課後子ども教室が連携して行うもの

指定校変更制度のご案内 ～平成28年4月からは住所地の指定校への入学が原則となります～

【指定校変更制度とは】

平成14年度から実施してきた学校希望制度は、平成24年度に見直しを行い、3年間の経過措置を経て、平成27年4月入学者をもって終了しました。

このため、平成28年度からは、お住まいの地域によって予め指定された小・中学校へ通学することが原則となります。ただし、特別な事情により指定校への通学が困難な場合は、指定校変更の申立てをすることができます。申立て事由に該当するか否かは、区ホームページの「指定校変更審査基準」等をご覧ください。

【学校の特色ある教育活動等に参加を志望する場合(第7号事由)について】

平成26年度から、指定校変更の認定事由に、「学校の特色ある教

育活動等に参加を志望する場合」(以下、第7号事由という。)を新たに追加しています。第7号事由による受入れ人数の上限は、小学校は10人、中学校は15人とし、指定校に隣接する学校1校に限り志望できるものとします。ただし、教室不足等学校の事情によっては、受入れができない学校もあります。

受入れには、「指定校変更申立書」に志望理由書を添えて「指定校変更の申立て」を行い、認定されることが必要です。

詳細については、新小学1年生には、就学時健康診断のお知らせに指定校変更のご案内を同封します。新中学1年生(現小学6年生)には、各区立小学校を通じてご案内を配布していきます。

問合せ：学務課 学事係

杉並区の給食レシピを「クックパッド」に掲載中!

日本最大級の料理レシピサービス「クックパッド」に杉並区の小・中学校・保育園の給食レシピを掲載しました。

掲載内容は、順次充実していきますので、ぜひご覧いただき、杉並区のおいしい給食を皆さんのご家庭で調理してみてください。

アクセス方法

- 1 「杉並区の給食 クックパッド」で検索
- 2 杉並区教育委員会ホームページ ▶ 学校教育 ▶ 学校給食 ▶ クックパッドリンク
- 3 QRコード読み取り



キムチチャーハン



白玉フルーツポンチ



サウピカンサラダ



クリック!



問合せ：学務課 保健給食係

中学生が使う教科用図書が決まりました

平成27年8月12日(水)に開かれた教育委員会定例会において、区立中学校で平成28年度から31年度まで使用する教科用図書を以下のとおり採択しました。

採択した教科用図書の見本は済美教育センターで閲覧することができます。

平成28～31年度使用 中学校教科用図書

種	目	出版	社	書	名
国	語	光村	図書出版	国語	
書	写	光村	図書出版	中学書写	
地	理	帝国	書院	社会科 中学生の地理	世界の姿と日本の国土
歴	史	帝国	書院	社会科 中学生の歴史	日本の歩みと世界の動き
公	民	帝国	書院	社会科 中学生の公民	より良い社会をめざして
地	図	帝国	書院	中学校社会科地図	
数	学	教育	出版	中学数学	
理	科	東京	書籍	新編 新しい科学	
音	楽(一般)	教育	芸術社	中学生の音楽	
音	楽(器楽合奏)	教育	芸術社	中学生の器楽	
美	術	日本文	教出版	美術	
保	健	東京	書籍	新編 新しい保健体育	
技	術	開隆	堂出版	技術・家庭(技術分野)	
家	庭	開隆	堂出版	技術・家庭(家庭分野)	
英	語	東京	書籍	NEW HORIZON	English Course

問合せ：済美教育センター ☎ 03-3311-0021

教育委員会の動き(平成27年6月～平成27年8月)

【教育委員会開催状況】 ・定例会6回 ・議案10件 ・報告事項17件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項

- ◎ 「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について
- ◎ 杉並区立中学校において使用する教科用図書(平成28～31年度使用)の採択について
- ◎ 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の指定について
- 「杉並区いじめ防止対策推進基本方針」の策定について
- 適応指導教室さざんかステップアップ教室「宮前教室」の開設について
- 高円寺地域における新しい学校づくりに伴う通学区域の特例措置について
- 「すぎなみネットでトラブル解決支援システム」の運用開始について
- 区立小学校における特別支援教室の設置について
- 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会の開催について

●再生紙を使用しています